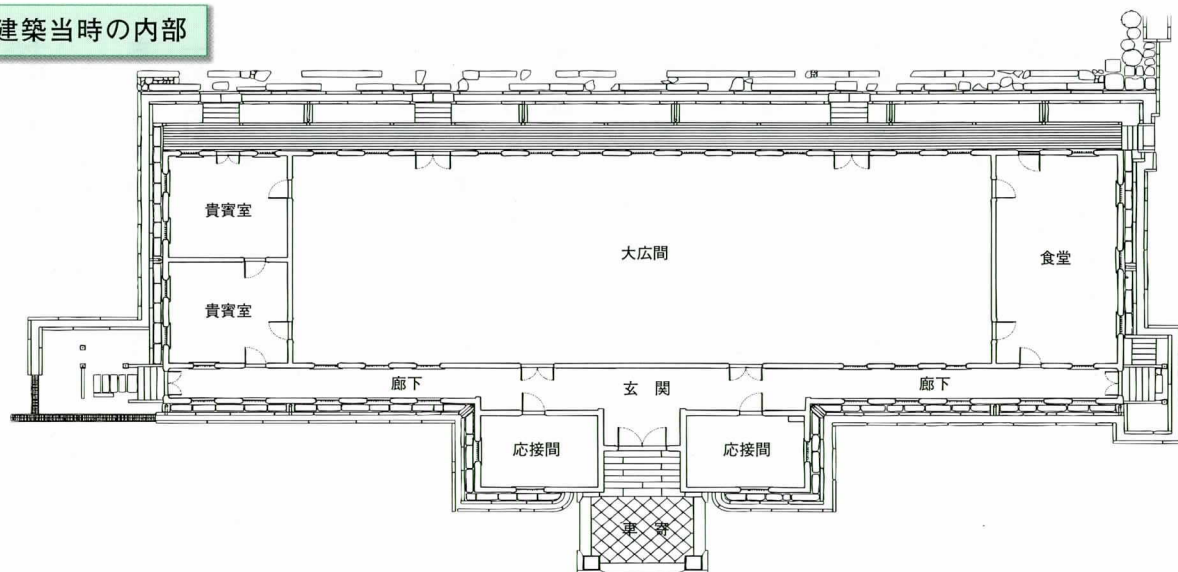


建築当時の正面図

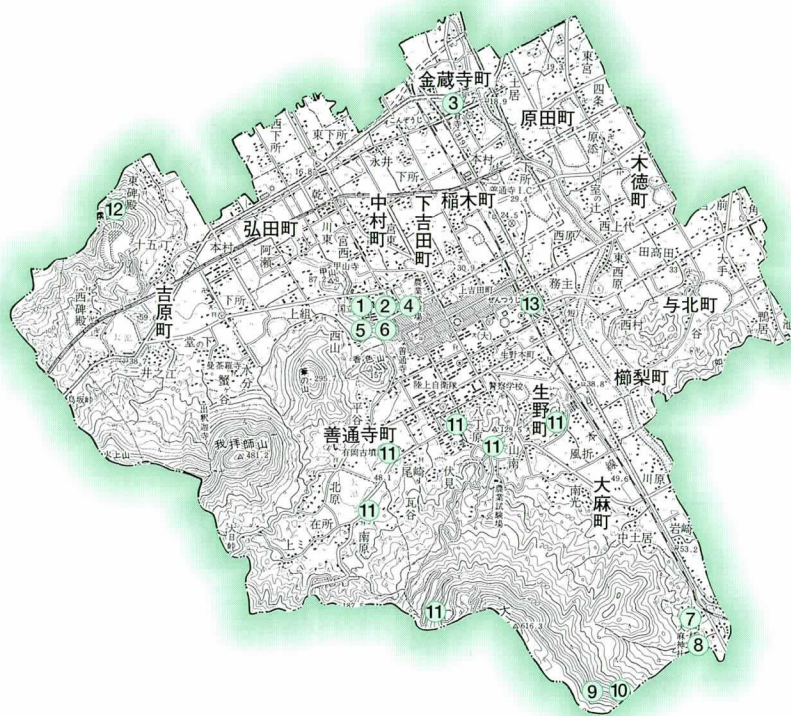
- 棟飾りと軍章が撤去され、善通寺市庁舎時代には金庫室（現薫蒸室）が増設された。
- 本来の基礎はレンガ化粧積み仕上げであったが、健在は基礎部のレンガ部分は白砂入りのモルタルが塗り込まれていて見えない。

建築当時の内部



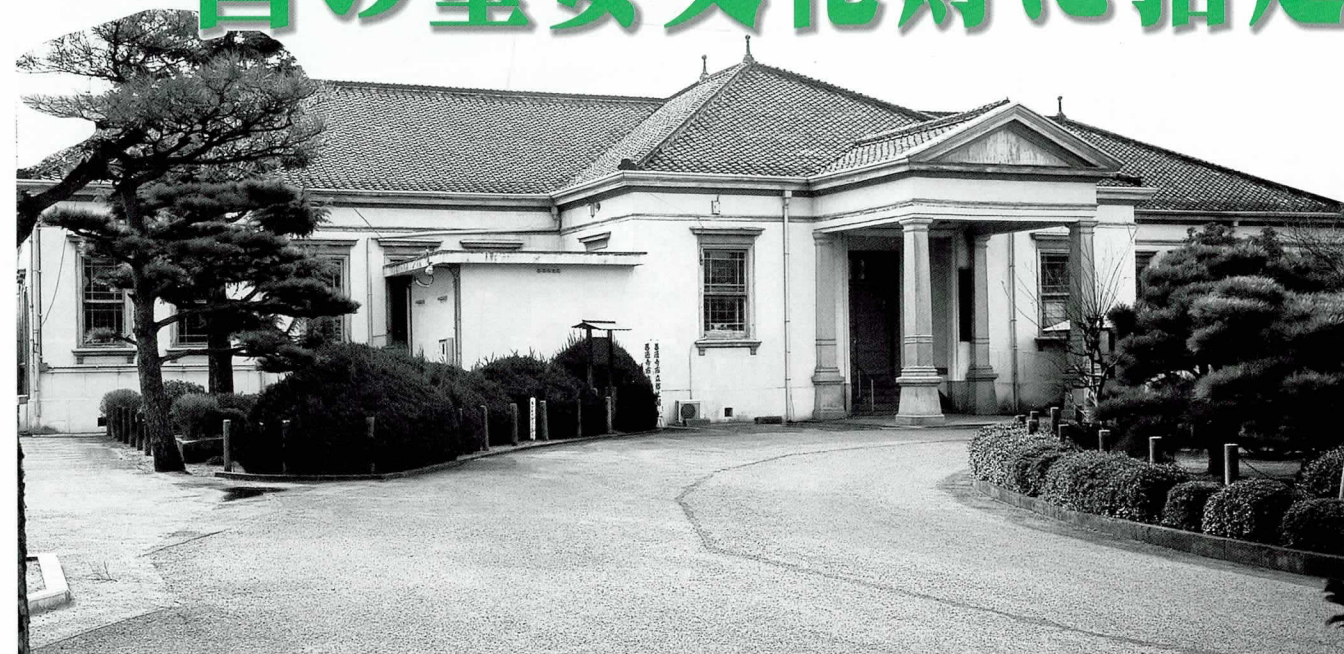
種別	名称	所有者
工芸 (国宝)	① 金銅錫杖頭	(善通寺)
絵画・書籍 (国宝)	② 一字一仏法華経序品	(善通寺)
絵画・書籍 (重要文化財)	③ 絹本着色智証大師像	(金蔵寺)
	④ 善通寺加藍井寺領絵図	(善通寺)
彫刻 (重要文化財)	⑤ 木造地藏菩薩立像	(善通寺)
	⑥ 木造吉祥天立像	(善通寺)
	⑦ 木造天太玉命座像	(大麻神社)
	⑧ 木造彦火瓊杵命座像	(大麻神社)
名勝	⑨ 象頭山	(琴平宮)
天然記念物	⑩ 象頭山	(琴平宮)
史跡	⑪ 有岡古墳群	王墓山古墳 (善通寺市) 磨臼山古墳 (個人所有) 鶴が峰4号墳 (四国農業試験場ほか) 丸山古墳 (丸山八幡神社ほか) 宮が尾古墳 (善通寺市) 野田院古墳 (文化庁)
	⑫ 天霧城跡	(善通寺市ほか)
考古資料 (重要文化財)	⑬ 唐臼山古墳出土 割竹形石棺	(善通寺市)

● 善通寺市内の国指定文化財（13件）



※今回の「旧善通寺偕行社」が14件目となります。

旧善通寺偕行社（現 市立郷土館）が 国の重要文化財に指定



善通寺市がこれまで貴重な文化財・建造物として保存整備を考慮しておりました「旧善通寺偕行社」の建物（現 善通寺市立郷土館・市庁舎南側）が、このたび「国指定重要文化財」に指定されました。

旧善通寺偕行社とは…

「旧善通寺偕行社」は陸軍第十一師団の開庁に伴い、師団将校の社交クラブとして創設されました。陸軍省営繕組織の設計で明治36年5月にしゅん工したと考えられており、現在は「善通寺市立郷土館」として利用しています。

「旧善通寺偕行社」は、簡明なルネッサンス様式の意匠でまとめられた洋風建築で、陸軍営繕組織の確立期における建築作風をよく伝える貴重な遺構（昔の建築物の構造や様式のわかる残存物）となっています。

保存状態も良好で、四国地方における洋風建築の普及を知る上でも重要なものです。

これまでに国の重要文化財に指定された建造物は、全国で二千九百七十七件（三千六百九十六棟）で、このうち旧陸軍の施設としては五例目となり、「旧偕行社」の建物では、北海道の「旭川偕行社」に次いで二例目となります。

今後の利活用は…

このたびの偕行社の重要文化財指定を受けて、市ではその建築目的に準じた利

用を念頭に、大広間のある社交場・市の迎賓館（市民ホール）的な施設として市民のみなさんに親しんでもらえるような活用を考えています。

そして、建物の周辺も「偕行社」にふさわしい整備を行うため、不要な建造物などは撤去し、南側庭園等を含めた「偕行社公園」の整備を積極的に進めます。

また、師団開設に伴い近代化した現在の町並みそのものを保存し活用するため、偕行社だけでなく師団司令部（現 第二混成団本部）兵器庫（三棟の赤レンガ倉庫）や民家・商家を対象に、建築の専門家や市民代表、自衛隊関係者による調査・保存・整備・活用を目的とした委員会をつくり検討する予定です。

